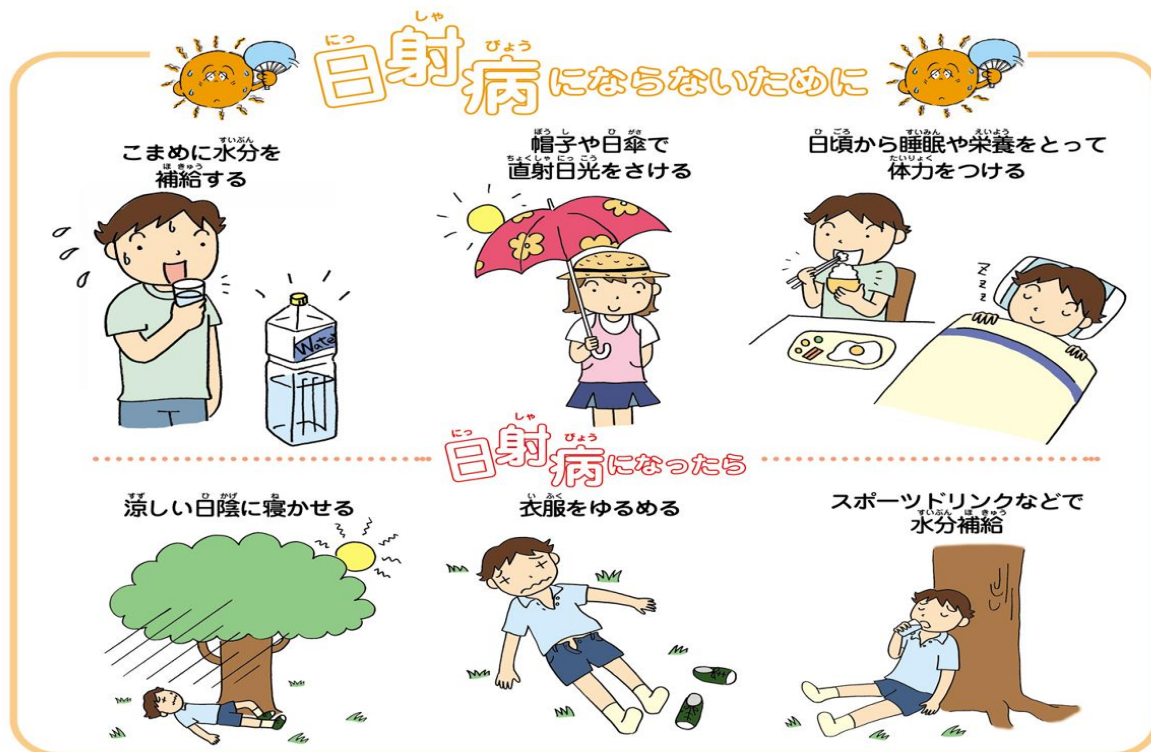
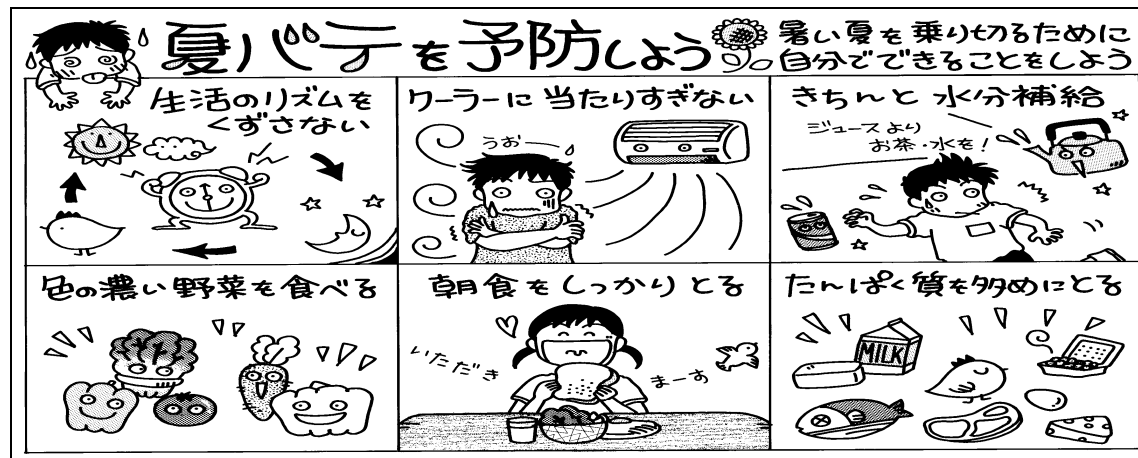


保健だより 6月（臨時）平成28年6月17日 宇栄原小学校保健室

おきなわけん きのう つゆ あ はっぴょう まいにち ひ つづ
沖縄県は昨日（16日）梅雨明けが発表され、これから毎日あつい日が続きます。

こうてい
校庭では、せみのなき声もきこえる季節になりました。

夏は楽しいこといっぱい季節です。もうすぐ、みなさんが楽しみにしている夏休みもはじまります。楽しく夏をのりきれるように、きそく正しい生活を心がけましょう。



「マイコプラズマ肺炎」について

「マイコプラズマ」という病原体によっておこる肺炎で、「せき・くしゃみなど」から感染します。（以前は「オリンピック肺炎」と言われ4年に一度の流行があったようで、現在はマイコプラズマに効果ある薬が導入され流行は消失しています）

現在、本校では「マイコプラズマ肺炎と診断され休んでいる児童が5年：1名（15日～）3年：1名（昨日早退）計2名います。

潜伏期間：2～3週間

主な症状：せき・頭痛・発熱・咽頭痛・だるい（発病初期はかぜと区別がつかないことが多い）

感染経路：飛沫感染（せき・くしゃみなど）

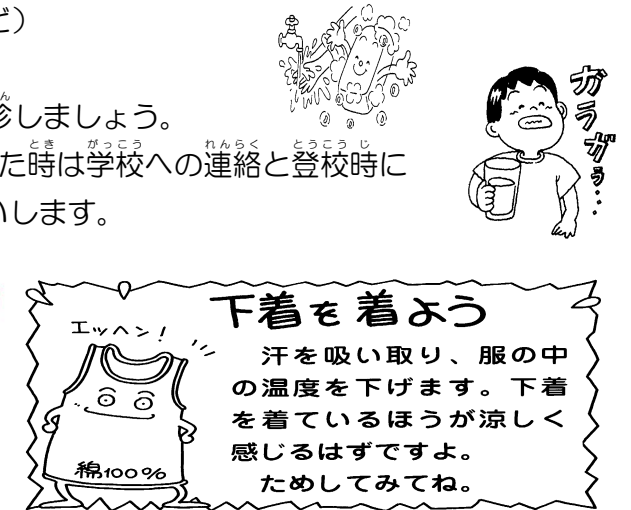
予防：うがい・手洗い

＊いつもと、違うな？と思ったら早めに受診しましょう。

もしも、「マイコプラズマ肺炎」と診断された時は学校への連絡と登校時に「登校許可書」（新学期配布済み）の提出をお願いします。



夏の日はしはとも強いですが、外に出るとき・外であそぶとき・部活動をするときなど、ちょっとひと工夫してみよう！
じぶんの体はじぶんで守っていこう。



夏の病気に気をつけよう

日射病や熱中症だけでなく、他にも夏に流行しやすい感染症があります。

- ① 「咽頭結膜熱」プールを介して子どもの間で流行するので、「プール熱」とも呼ばれます。夏かぜの中でも重症感が強く、40度近い高熱が4～5日続き、のどがひどく痛んで、眼が真っ赤になります。
さらに頭痛、はきけ、腹痛、下痢をとまうこともあります。
- ② 「手足口病」手のひら、足のうら、口の中に小さな水ぶくれができます。
高い熱が出ることは少なく、微熱ぐらいがほとんどです。口の中が痛くて食べられなくなることがあります。
- ③ 「伝染性紅斑」頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」とも呼ばれます。太ももや腕に赤い斑点やまだら模様がで、熱は出ても微熱ぐらいです

